



ECO屋根カバー工法

EPSカバー材を使用した、次世代型屋根カバー工法

NEXT GENERATION TYPE ECO ROOF COVER METHOD

Saninkaseikogyo × Tanabekogyo

特許出願中



無限の可能性をカタチに
SKK 山陰化成工業株式会社
TEL.0859-44-5510

〒684-0034 鳥取県境港市昭和町13-24
FAX 0859-44-3041 E-mail saninkasei@skk-eps.co.jp

山陰化成工業

TANABE 有限会社田辺工業
TEL.0859-29-3600

〒683-0854 鳥取県米子市彦名町295-3
FAX 0859-29-8209 E-mail youhei@tnb-k.com



ECO ROOFCOVER METHOD

コスト面と機能性・耐久性を兼ね備えた次世代型・ECO屋根カバー工法。

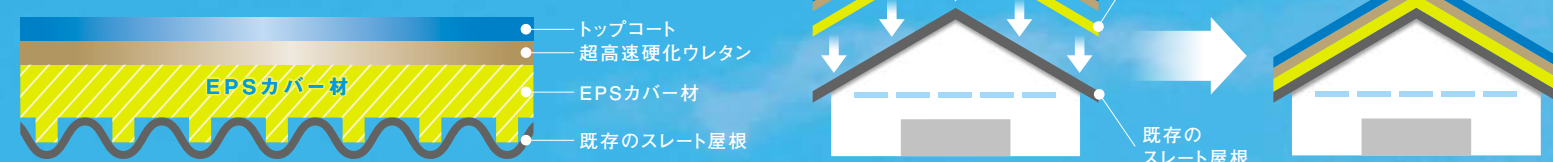
波形スレートを使用した工場等の多くが現在でも使用されていますが、老朽化等により表面の風化、消耗による屋根材としての耐力・機能の低下など問題が生じていることが指摘されています。

新たに葺き替えするとなれば工事費が高く、工場であれば生産をストップしなければならない等、大きな経済負担が生じます。

今回ご提案する“ECO屋根カバー工法”は屋根の工事を行う際も内部の生産ラインを停止させることなく、既存のスレート屋根にEPSカバー材を敷設し、その上に塗装コーティングを施すことで屋根の「断熱」「防音」「防水」「結露防止」「耐久性UP」「雨漏り・ひび割れ・穴の修復」を一括して行うことができ、老朽化した屋根の使用年数を延長させることを目的とした次世代型・ECO屋根カバー工法です。

ECO屋根カバー工法

既存のスレート屋根にEPSカバー材を敷設し、その上に塗装コーティングを施します。



- 波板スレート表面の形状に合わせたEPS成形品を波板スレートに接着剤により接合する。●EPS成形品の表面形状は波板スレートに合わせた波形状或いは平面形状など自由に設計する。
- EPS成形品の表面を屋根塗装として効果がありユーザーの希望する塗装・コーティングを施す。(EPS成形品の表面形状は、平面形状にすることにより波板形状よりも塗装・コーティング面積が10%程度少なく価格面でのメリットは大きくなる。) ※波板スレート屋根以外も対応可能です。

完成

全て解決
できます!!

！ 老朽化したスレート屋根の問題点

- 表面風化、消耗による屋根材としての耐力低下。
- スレート割れ反り、あばれ、ズレ等による漏水の発生。
- ほこり、ボルトからの錆による表面の汚れによる建物・企業イメージの低下。
- 一部波型スレートにはアスベストを含んだものがあり、社会問題となっている。



施工の流れ



1 屋根診断
まずは屋根の状況を確認。



4 防水塗装塗布
高強度ウレタンゴムを吹付け。



2 EPSカバー材敷設
既存の屋根にEPSカバー材を貼付け。



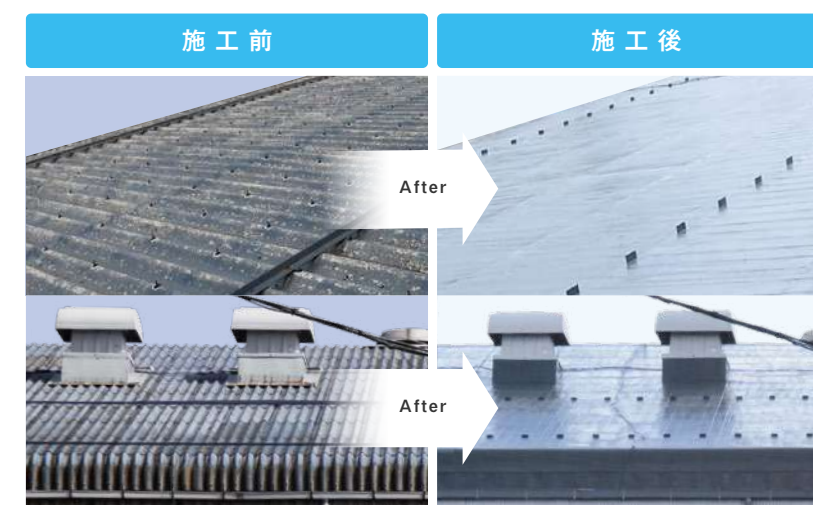
5 化粧塗料塗布
トップコートを塗布。



3 エッジカバー取付け
屋根端部、金物取付け。



6 完成



施工前

施工後

After

After

MERIT

1

低コスト

既存の波形スレート
を撤去しないので、
屋根材の撤去費用
と、産業廃棄物処
理費用が不要です。

MERIT

8

環境面

環境配慮型の機能
を付加することで省
エネ・CO2の削減
が可能です。

MERIT

2

防水・防音

二重の屋根になる
ので雨漏りや防音
対策にも有効です。

MERIT

3

遮熱性・断熱性

遮熱性・断熱性の
向上でよりよい労
働環境、住居環境
が得られます。

8

MERIT

ECO屋根カバー工法

MERIT

7

意匠性

意匠性の工場で建
物・企業イメージが
向上します。

MERIT

6

作業性

他カバー工法に比べ
重量が軽く作業性も
良いです。構造計算
も必要ありません。

MERIT

5

短納期

撤去葺き替え工法
に比べて工期が短
縮できます。

MERIT

4

耐久性

風雪による破損等
に強くなります。